



# 学校便り

平成24年11月30日  
広島市立広瀬小学校  
校長 中田 浩志

## ひとりひとりのがんばりをみんなで喜び合いました

11月27日(木)の児童朝会で、陸上記録会に参加した5・6年生の選手の記録証授与と、インスタントラーメンレシコンクールで最優秀賞を受賞した6年生の岡野城太郎くんの紹介がありました。

今回記録会に出場したのは、6年生8名、5年生7名の合計で15名でした。放課後に残って練習を行い、当日は学校の代表として立派な記録を残しました。選手みんなのがんばる姿を見て、きっと来年も新しい仲間が記録にチャレンジしてくれることでしょう。



岡野城太郎くんは、昨年度に続き2度目の最優秀受賞となりました。夏休みの課題として夏ばてしたお父さんに食べてほしいとの思いで、「おいしい!広島麺」のレシピを考え出し、応募しました。11月24日(土)の地区大会を勝ち進んだ岡野くんは、東京で行われる全国大会に出場します。広瀬小の仲間としてがんばってくれることをみんなで応援しています。



子どもたちはさまざまな場面で、それぞれが自分なりにいろいろなことにチャレンジしています。そのがんばりをみんなで喜び合う姿はすばらしいものだと感じます。また、次のチャレンジでお互いに励まし合うことができればと願っています。

## 5年生 防犯教室を行いました

11月27日には、5年生が防犯教室を行いました。今回は、広島中央警察署生活安全課の少年育成官さんや少年補導助手員さんをゲストティーチャーにお招きし、学校近くのコンビニエンスストアや玩具店にもご協力をいただき、万引きの被害やその予防について学びました。

お店の方から実際にお話をうかがったり、育成官さんや協助手員さんとお話したりして、学習したことをまとめ、発表しました。

中区・広瀬小  
万引ダメ 児童学ふ  
店舗回り聞き取り

玩具店の村さん(左端)から万引の被害について聞き取る児童ら。店「トイズ&ホビー」むらかみには児童らが入り込み、店長の村上正さん(66)に、被害に遭ったことがある商品を選んだ。村上さんは「ファミレスを取られたことがある。万引は犯罪。遊びのつもりでやらないで」と答えていた。

児童は同校に戻り、店で聞いた内容や感じたことをグループごとに発表した。池田隆生さん(11)は「万引は親や店の人を悲しませる。絶対にやらない」と誓っていた。

(永里真弓)

[中国新聞28日夕刊より]